

2023年

10月14日(土) 18:00~21:00

# 精神病院と決別して43年! トリエステ脱“監獄”のいま Part II

もっと聞きたい! ロベルト・メッツィーナを質問攻め

精神病院の不条理 第9弾



講師

ロベルト・メッツィーナ

精神科医、WHO精神保健国際協働ネットワーク代表、元トリエステ精神保健局長

写真は、トリエステで精神病院を捨てて地域精神保健に移したシンボルMarco Cavallo

講演・討論

精神病院を捨てたトリエステから日本が学べる事

「精神病院は前よりずっとよくなった」と言う人もいますが、良い精神病院であろうが、悪い精神病院であろうが、人間の身体的、社会的、心理的自由を奪い、尊厳を傷つける、およそ治療とは程遠い代物であることに変わりはありません。

トリエステは、精神病院はけっして治療装置たりえないことに気づき、43年前に精神病院を全廃して地域精神保健サービスに切り替え、今に至る町です。

トリエステ元精神保健局長を迎えて、「精神病院は必要だ」という考えを根底から覆します。



オンライン  
開催

定員 500人

司会・コメンテーター



大熊一夫

日本のMattoの町を考える会代表、  
ジャーナリスト



伊藤順一郎

日本のMattoの町を考える会副代表、  
メンタルヘルス診療所しほふぁーれ院長

通訳 早野ZITO真佐子 (医療福祉ジャーナリスト・翻訳家)、宮本有紀 (東京大学大学院精神看護学分野)

お申し込み (くわしくは裏面) 「精神病院の不条理第8弾(5/21実施)」に不参加  
だった方には、その時の配布資料をお送りします。

以下のサイト・右のQRコードよりお申し込み下さい  
<https://matto9th.peatix.com/>

参加費 1500円



事前申込締切 10月11日(水) ※当日参加はできません。また、お振込み後のキャンセル  
につきましては、ご返金いたしません。ご注意ください。

主催 日本の Matto の町を考える会 (Email : mattotokyo@gmail.com)

協力 認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構

# 精神病院と決別して43年! トリエステ脱“監獄”のいま Part II

もっと聞きたい!  
ロベルト・メツィーナを  
質問攻め

精神病院の不条理 第9弾



講師のロベルト・メツィーナ氏。  
フランコ・バザーリアの写真の前で。

**講師** ロベルト・メツィーナ 精神科医、WHO精神保健国際協働ネットワーク代表、元トリエステ精神保健局長。南イタリア・バーリ大学を卒業し、1978年にフランコ・バザーリアのトリエステ・サンジョヴァンニ病院に赴任。同病院の脱施設化、病院に代わるコミュニティ・サービスの発展に尽力。2014年春、トリエステ精神保健局長に就任。バザーリアの「思想と実践」を引き継ぐ新リーダーに。2009年秋からWHO調査研修協働センター長として、世界中の「精神病院の脱施設化」「精神病院に代わる地域密着型サービスの発展」を支援。これまでにデンマーク、チェコ共和国、オーストラリア、ニュージーランド等の精神保健改革をサポート。2001年から精神保健国際協働ネットワークの推進役として活動し、現在は代表。

## お申し込み方法 申込締切日：2023年10月11日(水) 23:55まで

- 右のサイトあるいはQRコードからお申し込みください。 <https://matto9th.peatix.com/>
- 当日参加はできません。また、お振込み後のキャンセルにつきましては、ご返金いたしません。ご注意ください。
- クレジットカード、コンビニ支払い等(コンビニ/ATMでのお支払いは、2023年10月10日で締め切られます)



トリエステ精神保健局の廊下に張り出されている  
トリエステ地域精神保健地図(日本語は大熊が加筆)

## 録画配信について

参加申込された方には、今回のイベントの様子を録画したものを視聴できるようにいたします。イベント終了後、準備ができ次第、メールにてあらためてご案内をお送りいたします。視聴期間は、メールでご案内してから2週間です。

## 注意事項

イベントURLの第三者への提供、ならびに本講演会の録音・録画・撮影は固くお断りいたします。



トリエステ・サンジョヴァンニ病院のかつての閉鎖病棟が、幼稚園になっていた(大熊が1986年初めてトリエステを訪れた時に撮影)

## 参加方法

パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。オンライン開催にはビデオ講演会システム ZOOM(ズーム)を使用します。配信 URL とパスワードは、イベント前日、お申込み時のメールアドレス宛に、メールでお送りいたします。

- 事務局からのメール(mattotokyo@gmail.com)が届くよう、あらかじめ受信設定、迷惑メール設定等を確認しておいてください。受信拒否設定等にしてある場合は、事務局からのメールが届かず、イベントに参加できないことがあります。特に、携帯電話やスマートフォンから申し込まれる場合はご注意ください。
- イベント当日は、開始20分前から入室できます。URLをクリックし、パスワードを入力してご入室ください。
- 講演中、質問やご意見がある方は、「Q&A」という機能がありますので、そちらに書き込んでください。書き込んでいただいた内容は、参加者からも閲覧可能な設定といたします。

お問い合わせ先メールアドレス [mattotokyo@gmail.com](mailto:mattotokyo@gmail.com)